

>>>> 食品工場排水処理担当者セミナーを開催 <<<<

3月26日に当センターで、県内工場で有機質の排水処理の担当者を対象に「食品工場排水処理担当者セミナー」を開催しました。年度末の多忙な時期でありましたが、20名（14社）の参加がありました。内容は、以下のとおりでした。

①講演：「食品工場の排水処理管理について」

日本浄水管理株式会社 中村義博氏

②意見交換会：排水担当者の方々の抱えている課題、疑問、各種設備の情報などについて、活発な意見交換がなされました。



意見交換会の様子

>>>> 醤油JAS^{ききみ}唼味検査員に感謝状授与 <<<<

月に1回、しょうゆの官能検査が鹿児島県味噌醤油工業協同組合主催により行われています。しょうゆの品質はJAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）に基づき、その規格は官能と成分で決められています。官能検査では（財）日本醤油技術センターが公認する「醤油官能検査員」が色・味・香りなどを厳しくチェックします。今回、醤油JAS制定50周年を記念して九州味噌醤油組合連合会より当センター食品・化学部の醤油JAS唼味検査員（公認醤油官能検査員：以下4名）に感謝状が授与されました。

【受賞者】 瀬戸口眞治，松永 一彦
安藤 義則，下野かおり



官能検査の様子

>>>> 鹿児島県職業能力開発協会表彰を受賞 <<<<

鹿児島県職業能力開発協会が開催する技能検定で、検定委員を務めた企画支援部 南 晃研究専門員が6月9日に同協会長表彰を受賞しました。

この技能検定は、技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度で技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。

今回は、長年にわたり技能検定委員を務め、技能検定の発展に尽力した功績をたたえられての受賞となりました。



表彰式の様子

>>>> 共同研究・受託研究に関するアンケート調査結果 <<<<<

平成25年度中に共同研究及び受託研究を実施した企業等を対象に、アンケートを実施し、満足度を調査しました。

・調査目的：中期業務計画（平成24～28年度）に基づき、共同研究・受託研究利用者の満足度等を調査し、業務改善に役立てる。

- ・調査対象：研究課題19件（17社）
- ・調査期間：平成26年5月8日～5月23日
- ・調査方法：調査票を郵送
- ・調査票：選択式及び記述式，8項目

その結果、研究課題19件（17社）から回答を頂きました。また、貴重なご意見・ご要望も頂戴いたしました。これを参考に、今後も業務改善に努めて参ります。

アンケート結果については次のとおりです。

1. 成果については、全ての利用者が「得られた」「ある程度得られた」との回答でした。

Q. 期待した成果が得られましたか

- A. 「得られた」 7件（37%）
- 「ある程度得られた」 12件（63%）
- 「あまり得られなかった」 0件
- 「得られなかった」 0件

2. 成果として、課題解決、知財形成、製品等への利用ができたというものが複数ありました。

Q. どのような成果がありましたか（複数回答）

- A. 「一定の成果があり共同研究を継続」 10件

- 「次の段階の研究開発に進展」 10件
- 「課題が解決できた」 5件
- 「製品（技術・サービス）に利用」 4件
- 「知財（特許，ノウハウ等）を形成」 2件

3. センターの対応については、18件が「非常に満足」または「満足」との回答でしたが、1件が「やや不満」と評価されました。利用者の求めるスピード感への対応について貴重な御指摘を頂戴しました。

Q. センターの対応はいかがでしたか

- A. 「非常に満足」 11件（58%）
- 「満足」 7件（37%）
- 「やや不満」 1件（5%）
- 「不満」 0件

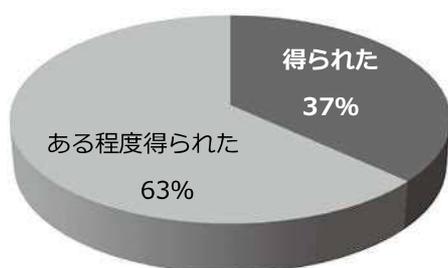
4. 今後の実施については、全ての利用者が「積極的に実施したい」「必要があれば実施したい」との回答でした。

Q. 今後も実施したいと思いますか

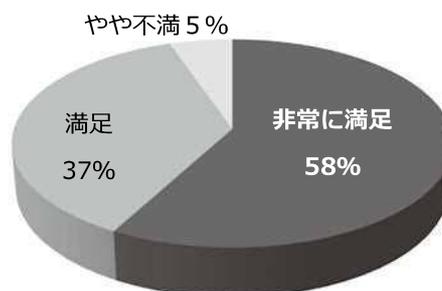
- A. 「積極的に実施したい」 8件（42%）
- 「必要があれば実施したい」 11件（58%）
- 「実施したくない」 0件

回答頂いた企業には、アンケートへの御協力に対し感謝申し上げます。

なお、工業技術センターでは、今年度も共同研究及び受託研究を行っています。研究実施や研究可能な分野にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



期待した成果が得られたか



センターの対応について